

中学校音楽科年間シラバス

3年間のねらい 学習目標

表現(歌唱・器楽)及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。(「中学校学習指導要領」より)

学年	第1学年	教科書	中学生の音楽1、中学生の器楽(教育芸術社)
		教材	アルトリコーダー、五線ノート

学習到達目標

表現(歌唱と器楽)と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を育てる。鑑賞では、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

学習方法

歌唱においては、斉唱・混声2～3部合唱、器楽ではアルトリコーダーを使用して2～3重奏を行う。鑑賞では、CD・DVD・楽器実演奏、等を用いる。年間を通して音楽の幅広い知識を身につける。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週2時間>

学期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1学期	1. 歌唱 「Forever」 「エーデルワイス」 「主人は冷たい土の中に」 (フォスター) 「Michael, Row The Boat Ashore」 「浜辺の歌」(成田為三) 2. 器楽 基礎的な知識と初歩的な演奏法 「喜びの歌」「かっこう」 「聖者の行進」「カノン1」 「オーラリー」 「アニーローリー」等 3. 鑑賞 「The Sound of Music」 「魔王」(シューベルト) 4. 楽典 「音楽記号」	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声と正しい姿勢で堂々と歌い、美しい響きを作ることを身につける。 ・映画の中の音楽の位置づけを理解する。 ・リコーダーと歌のアンサンブルを楽しむ。 ・近代アメリカ音楽とフォスターについて学習する。 ・ハ長調の階名に慣れる。 ・曲に合わせた発声や、言葉を理解して歌う。 ・詩の内容を大切に歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なリコーダーの歴史や知識、構造や種類を理解する。 ・初歩的な演奏方法を習得し、正しい姿勢で演奏をする。 ・タンギングに気をつけて演奏する。 ・親しみやすく易しいメロディーを、一緒に演奏する。 ・2つのパートに分かれて演奏し、ハーモニーを感じ取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカル映画の鑑賞を楽しむ。 ・シューベルト、ゲーテについて学習をする。 ・詩の内容を理解しながら鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲の表情や速さ、強弱などを表す記号、標語について学び、より深く曲を理解するための手立てとする。 	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽への関心、意欲、態度 ・音楽的な感受や表現の工夫 ・表現の技能 ・鑑賞の能力 <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末考査 楽曲の生まれた背景や詩の内容、作詞・作曲者、器楽、楽典についてなどの知識・理解を問う問題を出題する。 2. 実技テスト 大きな声で堂々と歌えているか等を評価する。 基本的な奏法を身につけているか等を評価する。 3. ノート プリント教材の整理、学習ノートが作成できているか等を評価する。 4. 授業の取り組み 集団行動に参加し、自己の表現ができているか等を評価する。

2 学期	1. 歌唱 「パフ」 「朝の風に」 「きっと歌える」 「赤とんぼ」(山田耕筰) 「カリブ夢の旅」等	<ul style="list-style-type: none"> ・混声2部合唱を通して、ハーモニーを工夫する。 ・音名と階名、ト音へ音譜表を学習する。 ・変声期について学習し、無理のない声での歌唱を試みる。 ・三木露風、山田耕筰について学習する。 ・詩の内容や、言葉と旋律の関係を考えながら歌唱する。 	<p>【評価の観点】</p> <p>1. 学期と同様</p> <p>【評価方法】</p> <p>1. 期末考査 1 学期と同様</p> <p>2. 実技テスト 1 学期と同様</p> <p>3. ノート 1 学期と同様</p> <p>4. 授業の取り組み 1 学期と同様</p>
	2. 器楽 「虹の彼方に」「われは海の子」「カノン2」「きらきら星」 「威風堂々」「木かげの思い出」「ふるさと」「春」等	<ul style="list-style-type: none"> ・単旋律の演奏や2重奏を通して、アーティキュレーションを工夫して演奏する。 ・サミングを行い、より滑らかな運指を目指す。 	
	3. 鑑賞 「春」(ヴィヴァルディ) 「アジアの諸民族の音楽」	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィヴァルディについて学習する。 ・使用楽器の特徴や曲構成を理解し、鑑賞する。 ・アジア諸国の様々な楽器の音色を鑑賞する。 	
3 学期	1. 歌唱 「unlimited」 「マイバラード」等、 各学期を通して教科書参考 曲、プリント教材等を適時使 用。	<ul style="list-style-type: none"> ・混声合唱を通して、ハーモニーの美しさを感じ取りながら歌う。 	<p>【評価の観点】</p> <p>1 学期と同様</p> <p>【評価方法】</p> <p>1. 期末考査 1 学期と同様</p> <p>2. ノート 1 学期と同様</p> <p>3. 授業の取り組み 1 学期と同様</p>
	2. 器楽 「星の世界」等、2～3重奏 曲。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで習得してきた技術をもとに、アンサンブルを楽しむ。 	
	3. 鑑賞 箏曲「六段の調」 尺八曲「巢鶴鈴慕」 「日本の民謡」	<ul style="list-style-type: none"> ・尺八や箏、三味線、日本の民謡を通して我が国の伝統音楽を理解する。 ・尺八や箏、三味線に実際に触れさせる。 	

学 年	第2学年	教科書	中学生の音楽2・3上、中学生の器楽(教育芸術社)
		教材	アルトリコーダー、五線ノート

学習到達目標

表現(歌唱と器楽)と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫する能力を養う。鑑賞では多様な音楽に対する理解を深め、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を養う。

学習方法

歌唱においては、斉唱・混声2～3部合唱、器楽ではアルトリコーダーを使用して2～3重奏を行う。鑑賞では、CD・DVD・楽器実演奏、等を用いる。年間を通して音楽の幅広い知識を身につける。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週1時間>

学 期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1 学 期	1. 歌唱 「夢の世界を」 「翼をください」	<ul style="list-style-type: none"> ・2部合唱を通して、ハーモニーの美しさを感じ取りながら歌う。 	<p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽への関心、意欲、態度

	<p>「そこに風がいる」 「夏の思い出」(中田喜直) 「夏の日の贈り物」等</p> <p>2. 器楽 「ラヴァースコンチェルト」 「シチリアーナ」等</p> <p>3. 鑑賞 「フーガ ト短調」 (J.S.バッハ)</p> <p>4. 楽典 「拍子や曲の形式の理解」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい声で、正しい姿勢で堂々と歌い、美しい響きを作ることを身につける。 ・中田喜直の生涯や作風を理解する。 ・詩の内容や言葉と旋律を理解して歌唱する。 ・アーティキュレーションや、様々な運指に気をつけて演奏する。 ・変奏曲について理解をする。 ・バッハやバロック時代について学習する。 ・宗教音楽や多声音楽を鑑賞する。 ・パイプオルガンの構造について学習する。 ・単純拍子と複合拍子、1～3部形式を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽的な感受や表現の工夫 ・表現の技能 ・鑑賞の能力 <p>【評価方法】</p> <p>1. 期末考査 楽曲の生まれた背景や詩の内容、作詞・作曲家、器楽、楽典についてなどの知識・理解を問う問題を出题する。</p> <p>2. 実技テスト 曲種に応じた発声や美しい言葉の表現を生かして、曲にふさわしい歌唱表現を身につけているか等を評価する。曲にふさわしい音色や奏法を身につけているか等を評価する。</p> <p>3. ノート プリント教材の整理、学習ノートが作成できているか等を評価する。</p> <p>4. 授業の取り組み 集団行動に参加し、自己の表現ができているか等を評価する。</p>
2 学 期	<p>1. 歌唱 「荒城の月」(滝廉太郎) 「サンタルチア」 「おうまがとおる！」 「心の中にきらめいて」等</p> <p>2. 器楽 「Edelweiss」「エデンの東」等</p> <p>3. 鑑賞 「交響曲第5番」 (ベートーヴェン)</p> <p>4. 楽典 調性と音程について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土井晩翠、滝廉太郎について学習する。 ・イタリア風土、カンツォーネについて学ぶ。 ・イタリア語の歌唱を試み、のびのびと大きな声で歌う。 ・詩の内容を理解しながら歌う。 ・諸外国の民謡の理解。 ・アーティキュレーションや、高度な運指に気をつけて演奏する。 ・表現を工夫して旋律を作る。 ・ベートーヴェン、古典派時代について学習する。 ・ソナタ形式を理解する。 ・オーケストラの編成や、使用楽器について学習する。 ・長調と短調、調性の持つ意味について学習する。 ・音程について理解する。 ・移調について理解する。 	<p>【評価の観点】</p> <p>1 学期と同様</p> <p>【評価方法】</p> <p>1. 期末考査 1 学期と同様</p> <p>2. 実技テスト 1 学期と同様</p> <p>3. ノート 1 学期と同様</p> <p>4. 授業の取り組み 1 学期と同様</p>

3 学 期	<p>1. 歌唱 「花の季節」「さくら草」等</p> <p>2. 器楽 プリント教材等</p> <p>3. 鑑賞 「アイーダ」(ヴェルディ)等 「勸進帳」「新版歌祭文」から “野崎村の段” 「日本の郷土芸能」 「世界の諸民族の音楽」等</p> <p>4. 楽典 「日本の音階」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・混声合唱を通して、ハーモニーの美しさを感じ取りながら歌う。 ・諸外国の民謡を歌う。 ・曲にふさわしい表現を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルディ、ロマン派について学習する。 ・演劇、歌、舞台が一体となった作品を鑑賞する。 ・文楽、歌舞伎、民謡を通して我が国の伝統音楽を理解する。 ・世界各地の様々な楽器や音楽に触れさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の様々な音階について学習をする。 	<p>【評価の観点】 1.学期と同様</p> <p>【評価方法】 1.期末考査 1.学期と同様 2.ノート 1.学期と同様 3.授業の取り組み 1.学期と同様</p>
-------------	--	--	---

学 年	第3学年	教科書	中学生の音楽2・3下、中学生の器楽(教育芸術社)
		教材	アルトリコーダー、五線ノート

学習到達目標

表現(歌唱と器楽)と鑑賞の能力を育てる。表現では音楽への興味と関心を養い、音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫する能力を高める。鑑賞では多様な音楽に対する理解を深め、音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

学習方法

歌唱においては、斉唱・混声2～4部合唱、器楽ではソプラノ・アルトリコーダー、電子楽器、各種打楽器等を使用して器楽合奏を行う。鑑賞では、CD・DVD・楽器実演奏、等を用いる。年間を通して音楽の幅広い知識を身につける。

年間シラバス (1年間の学習予定表)

<週1時間>

学 期	学習内容・項目	学習のポイントと到達目標	評価の観点
1 学 期	<p>1. 歌唱 「花」(滝廉太郎) 「風の中の青春」 「L・o・v・e」等</p> <p>2. 器楽 「コンドルは飛んで行く」 「美女と野獣」等</p> <p>3. 鑑賞 「レクイエム」から”涙の日” 「エチュードハ短調・革命」 「春の祭典」、「交響曲第9番」 「新世界より」、「白鳥の湖」、「フィガロの結婚」等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・滝廉太郎について学習する。 ・詩の内容や、言葉と旋律の関係を大切に して、2部合唱をする。 ・曲の仕組みを調べて表現を工夫する。 ・息の流れに気をつけて、のびのびと歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすい曲を通して、2重奏を楽しむ。 ・アーティキュレーションや、高度な運指に 気をつけて演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な時代の合唱曲に触れる。 ・オーケストラの名曲を鑑賞する。 ・バレエ音楽・オペラ・ミュージカル等を通 して、舞台作品を鑑賞する。 	<p>【評価の観点】 ・音楽への関心、意欲、 態度 ・音楽的な感受や表現の 工夫 ・表現の技能 ・鑑賞の能力</p> <p>【評価方法】 1.期末考査 楽曲の生まれた背景 や詩の内容、作詞・作 曲者、器楽、楽典につ いてなどの知識・理解 を問う問題を出題す る。 2.実技テスト 曲種に応じた発声や 美しい言葉の表現、曲 の仕組みを生かして、 曲にふさわしい歌唱</p>

			<p>表現を身につけているか等を評価する。 曲にふさわしい音色や奏法を感じ取り、それを生かして表現をする技能を身につけているか等を評価する。</p> <p>3.ノート プリント教材の整理、学習ノートが作成できているか。</p> <p>4.授業の取り組み 集団行動に参加し、自己の表現ができているか。</p>
2 学 期	<p>1. 歌唱 「上を向いて歩こう」 「帰れソレントへ」 「花の街」(團伊玖磨) 「自由への讃歌」等</p> <p>2. 器楽 「Yesterday」 「ブルタバ (モルダウ)」等</p> <p>3. 鑑賞 「ブルタバ (モルダウ)」 (スメタナ) 「ポピュラー音楽」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリア風土、カンツォーネについて学ぶ。 ・イタリア語でのびのび表情豊かに歌唱する。 ・團伊玖磨について学習する。 ・詩の内容や、言葉と旋律の関係を大切にしてい、歌唱する。 ・英語の歌詞で、のびやかに歌う。 ・ジャズについて理解する。 ・アドリブを楽しむ。 ・電子楽器の活用を工夫する。 ・調号での調の見分け方を学習する。 <p>・ソプラノとアルトのアンサンブルを通して、2～3重奏を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スメタナについて学習する。 ・情景を思い浮かべながら鑑賞する。 ・チェコの風土について学習する。 	<p>【評価の観点】 1 学期と同様</p> <p>【評価方法】 1. 期末考査 1 学期と同様 2. 実技テスト 3. ノート 1 学期と同様 4. 授業の取り組み 1 学期と同様</p>
3 学 期	<p>1. 歌唱 「早春賦」(中田 章) 「青空」「大地讃頌」 「旅立ちの日に」等</p> <p>2. 器楽 「トリスターザ」 プリント教材等</p> <p>3. 鑑賞 「越天楽」「羽衣」 「世界の諸民族の音楽」 「耳でたどる音楽史」等</p> <p>4. 生活の中に生きる音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・吉丸一昌、中田章について学習する。 ・詩の内容や、言葉と旋律の関係を大切にしてい、歌唱する。 ・混声合唱を通して、ハーモニーの美しさを感じ取りながら歌う。 <p>・様々な楽器を用いて器楽合奏をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽、伝統芸能に触れる。 ・世界の諸民族の音楽に触れる。 ・西洋と日本の音楽史を学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・国境を越えて影響し合う音楽の意味を理解させる。 ・ルールを守って音楽を楽しむ必要性を理解させる。 ・生涯にわたって生活と共にしていく音楽、自分にとっての音楽について考えさせる。 	<p>【評価の観点】 1 学期と同様</p> <p>【評価方法】 1. 期末考査 1 学期と同様 2. ノート 1 学期と同様 3. 授業の取り組み 1 学期と同様</p>